



人との縁がつなぐ、新たな出会い

## 鬼石ゲストハウス「さんと宿(す)」

いわもと さとし  
岩本 哲 さん

ニュージーランドでゲストハウスの魅力に惹かれた岩本さんは、帰国後、東京のゲストハウスでの修行中に会った人から藤岡市鬼石地区を紹介され、2017年に移住しました。

鬼石の魅力は、何より人の暖かさだそうです。人とのご縁が更にご縁を呼び、人がつながっていく。そんなつながりから空き家を紹介され、2020年に念願である自身のゲストハウスをオープンしました。

「これからは、自分が人と人をつなぐ役割を果たしていきたい」と、意気込みを見せてくれました。



●宿の名前は休業時代のニックネーム「サントス」が由来。今でも、親しみを込めてサントスさんと呼ばれています。



●これまでの宿泊者の思い出で彩られたリビング。暖かい日差しが降り注ぐ、居心地の良い空間です。

地域と人を結ぶ懸け橋として

## 民泊「暮らす宿 ほしのいえ」

ほしの じゅん  
星野 潤 さん

星野さんは地域おこし協力隊として2019年に藤岡市に移住し、味噌づくりのワークショップなどを開催しながら、鬼石地域のために活動してきました。

2022年には養蚕古民家を改修し、民泊「暮らす宿 ほしのいえ」をオープン。ここでは泊まるだけでなく、展示会なども開催することができるそうです。

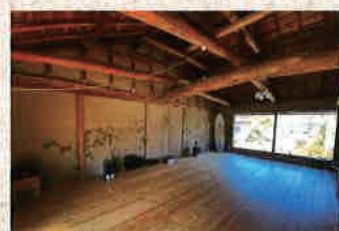
「鬼石の魅力は、都会と異なり人との距離が近いこと。移住したいと思う人が地域とつながるためのきっかけとなる場所にしていきたい」と、明るい表情で語ってくれました。



●2022年2月に地域おこし協力隊を卒業した後も、移住相談にご協力いただいています。



●味噌作りや発酵体験を行うこともできます。



●広々とした2階部分。様々な活動ができそうです。